

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501010100	事業の種類	2
年度	30	事務事業名	市民体育館管理事業	予算事業名	市民体育館管理運営事業 優先度
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課	
施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名
取組み事項	スポーツ施設の整備を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名	市民体育館改修				
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、体育館利用者			
	誰(何)を対象として	市民、体育館利用者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民、利用者が市民体育館を利用し、安全に様々なスポーツ活動が展開される場を提供する。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要	市民体育館の管理運営、利用許可、使用料徴収その他条例で定められた管理運営に関する事業を行い、健康づくり、体力づくりなど、スポーツに親しめる環境づくりを行う。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	利用件数	件	7171	7023	7351	7500
	利用者数	人	97232	69176	110025	113000

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.332	0.328	99	0.340	104	0.340	100	
	臨時職員	0.139	0.148	106	0.160	108	0.160	100	
支出内訳	人件費	3,212,419	3,292,448	102	3,340,340	101	3,466,184	104	
	事業費	10,715,918	147,935,570	1,381	12,016,632	8	11,636,000	97	
	合計	13,928,337	151,228,018	1,086	15,356,972	10	15,102,184	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	2,327,800	1,567,340	67	1,831,745	117	1,817,000	99	
	一般財源	11,600,537	149,660,678	1,290	13,525,227	9	13,285,184	98	
合計	13,928,337	151,228,018	1,086	15,356,972	10	15,102,184	98		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民体育館利用状況							
指標説明(式)		市民体育館利用人員							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	105000	3700	3.5	100000	2702.7	113000	113.0	
	実績	97232	69176	71.1	110025	159.1			
指標名2		市民体育館利用状況							
指標説明(式)		卓球場利用人員(大人)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	3000	3000	100.0	3000	100.0	3000	100.0	
	実績	3534	3922	111.0	3664	93.4			

【効率性】

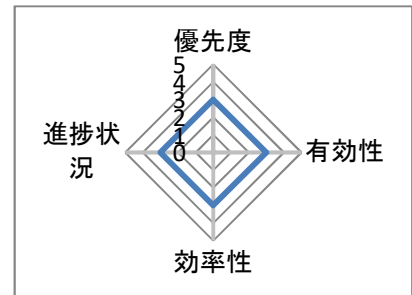
指標名1		市民体育館管理事業費							
指標説明(式)		市民体育館管理事業費総額							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	12304000	128680000	1045.8	12689000	9.9	11636000	91.7	
	実績	10715918	147935570	1380.5	12015579	8.1			
指標名2		市民体育館管理事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1005000	129050000	12840.8	1050000	0.8	1050000	100.0	
	実績	396360	132882760	33525.8	2530116	1.9			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	前年の競技場改修工事が完了したことにより前年を大きく上回った反面、卓球場利用者人数においては前年度の実績を下回った。	3
	組織運営・適正管理	施設の延命化に向け、今後も効率的に維持修繕に取り組む必要がある。	
効率性	コストの節減	節電に心がけ、光熱水費抑制に努めた。	3
	執行体制の効率性	平日夜間、休日の体育館受付業務をシルバー人材センターに委託し、執行体制は効果的である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きな事故もなく、健康維持の増進、スポーツの場を提供できている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	災害時の第一次避難所であることから、ライフライン断絶時、避難所として機能するため、設備の充実を図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	競技場の環境が改善されたので、今後も大事に使っていく意識の醸成を図っていく。

配点	25
総合評価	15

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501010200		事業の種類	2			
年度	30	事務事業名	市民プール管理運営事業		予算事業名	市民プール管理運営事業   優先度		2	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会体育振興課			
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ			担当課長	小西まこと		担当者名	朝田訓弘
取組み事項		スポーツ施設の整備を行う			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名		市民プール改修事業			市民プール改修工事				
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、プール利用者							
	誰(何)を対象として	市民、プール利用者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民、利用者が安全に利用できる施設として、管理運営を行う。							

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		市民プールの施設内における遊泳者の監視や利用者の受付対応、水質の維持管理を行うことにより、利用者が安全かつ快適にプールを利用できるよう努める。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	利用者数(総数)	人	3739	3920	3324	4000	
	利用者数(中央プール)	人	0	0	0	0	
	利用者数(西部プール)	人	3739	3920	3324	4000	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.160	0.084	53	0.080	95	0.080	100	
	臨時職員			-		-	0.000	-	
支出内訳	人件費	1,554,026	1,019,424	66	964,460	95	964,684	100	
	事業費	5,974,000	5,974,000	100	7,973,080	133	6,274,000	79	
	合計	7,528,026	6,993,424	93	8,937,540	128	7,238,684	81	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	0	0	-	0	-	0	-	
	一般財源	7,528,026	6,993,424	93	8,937,540	128	7,238,684	81	
合計	7,528,026	6,993,424	93	8,937,540	128	7,238,684	81		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民プール利用状況							
指標説明(式)		市民プール利用人員(総数)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	4000	4000	100.0	4000	100.0	4000	100.0	
	実績	3739	3920	104.8	3324	84.8			
指標名2		市民プール利用状況							
指標説明(式)		小学校のプール利用(学校教育課程として)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2000	1500	75.0	1500	100.0	1500	100.0	
	実績	1270	1432	112.8	1155	80.7			

【効率性】

指標名1		市民プール管理運営事業費							
指標説明(式)		市民プール管理運営事業費総額(賃金含む) ただし28年度からは指定管理							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	6274000	6274000	100.0	6274000	100.0	6274000	100.0	
	実績	5974000	5974000	100.0	5974000	100.0			
指標名2		市民プール管理運営事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	300000	300000	100.0	2300000	766.7	300000	13.0	
	実績	0	0	-	1999080	-			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	小学校の水泳指導として適正に使用できた。学校教育課程としての利用者は、前年より減となった。	4
	組織運営・適正管理	専門事業者に管理委託することにより、これまで以上に、利用者にとって魅力のある、適正な管理運営を図ることができた。	
効率性	コストの節減	水質管理に努め、使用水量、薬剤の節減に努めた。	4
	執行体制の効率性	指定管理することにより、適正な人員配置を行い、安全確保に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	少子化により、小学校の児童数が減少している昨今、大きな事故もなく、適正な管理運営ができています。	3

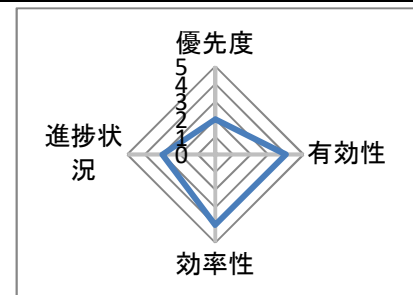
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性		施設が老朽しており、有効な維持管理が求められる。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性		(株)アクアティックに管理運営業務委託し、連携を取りながら今後も適正管理に努めていく。



配点	25
総合評価	15

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501010300	事業の種類	2
年度	30	事務事業名	市民グラウンド管理運営事業	予算事業名	市民グラウンド管理運営事業   優先度
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと
取組み事項		スポーツ施設の整備を行う		実施計画への記載	無
実施計画事業名		スポーツセンター土壌改良工事		東部公園グラウンド改修事業	
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、市民グラウンド利用者			
	誰(何)を対象として	市民、市民グラウンド利用者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が安全に利用できる施設として、適正な維持管理を行い、スポーツの場を提供する。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		市民グラウンドの利用者が快適に利用できるよう、施設の整備、充実に努める。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	利用者数	人	30278	23162	19319	18000
	利用件数	件	351	224	180	170

## 3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.364	0.360	99	0.360	100	0.360	100	
	臨時職員	0.080	0.076	95	0.080	105	0.080	100	
支出内訳	人件費	3,299,726	3,349,776	102	3,267,500	98	3,393,684	104	
	事業費	3,516,634	4,654,736	132	3,711,659	80	19,002,000	512	
	合計	6,816,360	8,004,512	117	6,979,159	87	22,395,684	321	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	360,800	407,100	113	425,375	104	270,000	63	
	一般財源	6,455,560	7,597,412	118	6,553,784	86	22,125,684	338	
合計	6,816,360	8,004,512	117	6,979,159	87	22,395,684	321		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民グラウンド利用状況							
指標説明(式)		市民グラウンド利用人員							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	20000	20000	100.0	20000	100.0	18000	90.0	
	実績	30278	23162	76.5	19319	83.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

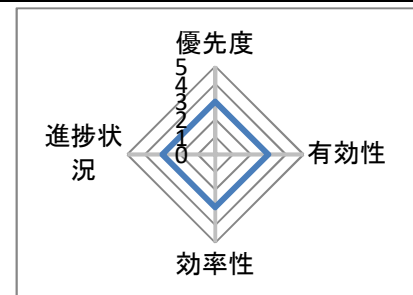
指標名1		市民グラウンド管理運営事業費							
指標説明(式)		市民グラウンド管理運営事業費総額							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3782000	3818000	101.0	3841000	100.6	4002000	104.2	
	実績	3516634	4654736	132.4	3511659	75.4			
指標名2		市民グラウンド管理運営事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	110000	110000	100.0	110000	100.0	15110	13.7	
	実績	30240	1067256	3529.3	41040	3.8			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	屋外型施設のため、天候により利用件数等が大きく左右される。前年度と比較し、利用者数は減となった。	3
	組織運営・適正管理	利用団体との協働により、良好な施設活用が図れた。	
効率性	コストの節減	施設の老朽による軽微な不具合は発生しているが、効果的に最小限の費用で対応できている。	3
	執行体制の効率性	利用がない日および利用時間帯等、利用形態に合わせた委託管理の調整を行い、施設管理の効率性を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きな事故もなく、良好で適正な維持管理を行い、スポーツの場を提供できている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性		施設が老朽化しており、不調の早期発見に努め、対処する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性		使用実態に即した委託管理を行い、詳細を連携し事業費節減に努める。

配点	25
総合評価	15

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501010400	事業の種類	2
年度	30	事務事業名	温水プール管理運営事業	予算事業名	温水プール管理運営事業 優先度
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと
取組み事項		スポーツ施設の整備を行う		実施計画への記載	無
実施計画事業名		温水プール改修事業		主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、温水プール利用者			
	誰(何)を対象として	市民、温水プール利用者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営を行い、健康維持の増進、スポーツの場を提供する。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		指定管理者制度により包括的に委託し、温水プール維持管理運営業務を行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	利用者数	人	125766	152252	147819	150000

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.300	0.320	107	0.324	101	0.324	100	
	臨時職員			-		-	0.000	-	
支出内訳	人件費	2,608,926	2,840,872	109	2,778,356	98	2,881,304	104	
	事業費	25,862,040	19,324,600	75	21,094,720	109	23,030,000	109	
	合計	28,470,966	22,165,472	78	23,873,076	108	25,911,304	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	601,320	601,320	100	580,920	97	580,000	100	
	一般財源	27,869,646	21,564,152	77	23,292,156	108	25,331,304	109	
合計	28,470,966	22,165,472	78	23,873,076	108	25,911,304	109		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		温水プール利用状況							
指標説明(式)		温水プール利用人員							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	100000	127000	127.0	140000	110.2	150000	107.1	
	実績	125766	152252	121.1	147819	97.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

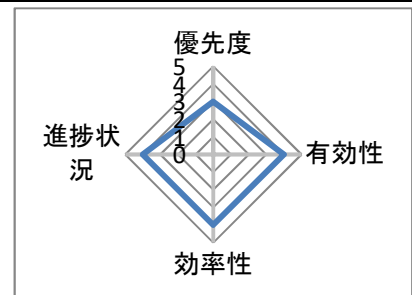
指標名1		温水プール管理運営事業費							
指標説明(式)		温水プール管理運営事業費総額							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	26427000	22600000	85.5	22200000	98.2	23030000	103.7	
	実績	25862040	19324600	74.7	21094720	109.2			
指標名2		温水プール管理運営事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3600000	3600000	100.0	3200000	88.9	3100000	96.9	
	実績	3200040	669600	20.9	2165400	323.4			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	軽微な修繕はあるものの、指定管理者の運営努力により時間、施設を有効に活用し、利用者の確保ができた。	4
	組織運営・適正管理	利用者の方向性に応じた運営を行い、要望に対しては迅速な対応を行った。	
効率性	コストの節減	指定管理者による節電、節水等のコスト削減意識により、節減に努められている。	4
	手段の最適性	会員選択制のプログラムを充実させること、会員から要望に対応したトレーニングコースを新設するなど、会員および利用者の維持に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きな事故もなく、健康維持の増進、スポーツの場を提供できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	利用者が多い施設であるため、確実な稼働を確保する必要がある、並行して長寿命化のため計画による設備の大掛かりな改修が必要となる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から計画的な施設維持に努め、適正な管理を進める。

配点	25
総合評価	18



# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020100		事業の種類	4	
年度	30	事務事業名	海洋訓練教室推進事業		予算事業名	海洋訓練教室推進事業   優先度	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	市民生活部地域振興課	
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ			担当課長	担当者名	
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	自然に恵まれた海を利用して、ヨット・ボート・カヌーなど海洋スポーツの普及に努める。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		子どもへの海洋スポーツの普及・促進するため、海洋スポーツクラブに事業委託を行い、又活動拠点の海の環境交流ハウスの維持管理を行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	参加者	人	618	839	580	700
	会員数(子ども)	人	15	16	12	15

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.004	0.004	100	0.004	100	0.024	600	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	378,566	401,984	106	399,476	99	524,804	131	
	事業費	687,204	681,752	99	677,784	99	718,000	106	
	合計	1,065,770	1,083,736	102	1,077,260	99	1,242,804	115	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,065,770	1,083,736	102	1,077,260	99	1,242,804	115	
合計	1,065,770	1,083,736	102	1,077,260	99	1,242,804	115		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		参加者							
指標説明(式)		参加者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	900	650	72.2	900	138.5	700	77.8	
	実績	618	839	135.8	580	69.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

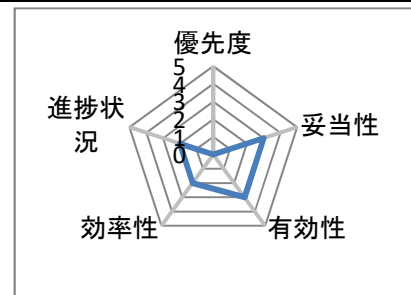
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生湾特有の穏やかな波を活かし、多くの参加者のもと海洋訓練を行えた。	3
効率性	手段の最適性	B&Gあいおい海洋クラブ(委託先)の、市から自立できる体制整備に取り組む必要がある。	2
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに実施することができたが、天候で実施できない日があった。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	公共性	主に会員12名のみが、活動している状態である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	海にある街に住む相生の子供達の未来に影響を与えるような事業であり、改善していかななくてはならない

配点	32.5
総合評価	11.5

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020200		事業の種類	3		
年度	30	事務事業名	社会体育計画管理事業		予算事業名	社会体育費事務経費	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ			担当課長	小西まこと	担当者名	朝田訓弘
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		スポーツ基本法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	庁内組織、千種川水系地区社会体育担当者会議およびスポーツ推進審議会						
	意図(どのような状態にしたいのか)	近隣市町との情報交換や連絡調整を行うほか、スポーツ推進審議会での答申を得ながら計画的で効率的なスポーツの推進を図る。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		近隣市町との情報交換や連絡調整を行うほか、スポーツ推進審議会での答申を得ながら計画的で効率的なスポーツの推進を図る。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	千種川水系地区社会体育担当者会議	回	1	1	1	1	
	スポーツ推進審議会	回	2	2	2	2	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.126	0.226	179	0.222	98	0.222	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,297,836	2,115,380	163	2,020,088	95	2,080,094	103	
	事業費	179,768	154,298	86	173,940	113	192,000	110	
	合計	1,477,604	2,269,678	154	2,194,028	97	2,272,094	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,477,604	2,269,678	154	2,194,028	97	2,272,094	104	
合計	1,477,604	2,269,678	154	2,194,028	97	2,272,094	104		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ推進審議会および千種川水系地区社会体育担当者会議							
指標説明(式)		審議会および担当者会議開催数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

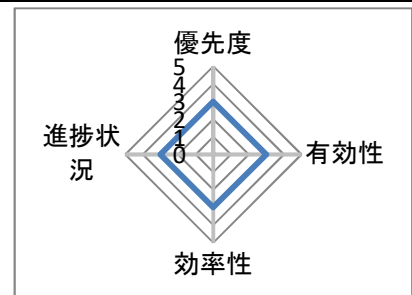
指標名1		スポーツ推進審議会女性委員数							
指標説明(式)		スポーツ推進審議会女性委員数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	3	4	133.3	3	75.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2		一般事務経費							
指標説明(式)		社会体育費事務経費+スポーツ推進審議会報酬							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	245000	198000	80.8	193000	97.5	192000	99.5	
	実績	179768	154298	85.8	173940	112.7			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	スポーツ推進審議会は年2回開催することができた。	3
	組織運営・適正管理	審議会委員の若返りには至っていない。	
効率性	コストの節減	スポーツ推進審議会委員報酬のほか、必要事業費のみの予算措置である。	3
	執行体制の効率性	スポーツ関連の幅広い団体からの参画により社会体育振興事業の推進に寄与できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	スポーツ推進審議会での答申を得ながら、計画的で効率的なスポーツの推進が図れている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	委員構成の若返りと女性委員割合を増やしていく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	25
総合評価	15

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020300		事業の種類	4		
年度	30	事務事業名	スポーツ活動推進事業		予算事業名	社会体育振興事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ			担当課長	小西まこと	担当者名	平野慎司
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が暮らしの中で体力づくりや健康保持等、それぞれの目的に合わせたスポーツ活動を生き生きと展開する。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		各種競技スポーツの推進、スポーツクラブ21の推進、国際大会、全国大会出場選手に対する優秀選手激励制度の運用に取り組む。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	市民体育大会事業等	種目数	18	18	18	18	
	優秀選手激励制度	件	38	26	14	25	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.640	0.660	103	0.664	101	0.656	99	
	臨時職員	0.144	0.134	93	0.140	104	0.120	86	
支出内訳	人件費	5,546,234	5,817,948	105	5,693,576	98	5,833,564	102	
	事業費	2,584,476	2,373,842	92	2,292,686	97	2,564,000	112	
	合計	8,130,710	8,191,790	101	7,986,262	97	8,397,564	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	240,000	225,000	94	250,000	111	249,000	100	
	一般財源	7,890,710	7,966,790	101	7,736,262	97	8,148,564	105	
合計	8,130,710	8,191,790	101	7,986,262	97	8,397,564	105		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民体育大会等実施数							
指標説明(式)		市民体育大会+その他振興事業 ※市民体育大会:18種目 その他:4事業							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	22	23	104.5	22	95.7	22	100.0	
	実績	21	22	104.8	22	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

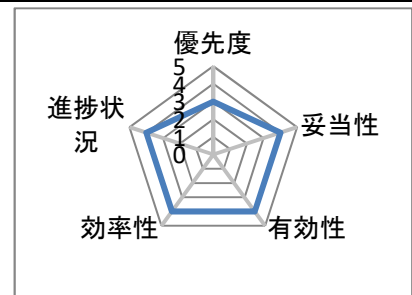
指標名1		市民体育大会等(1種目あたりのコスト)							
指標説明(式)		社会体育普及振興事業費÷大会等種目数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	119772	115956	96.8	119636	103.2	116545	97.4	
	実績	123070	107901	87.7	104213	96.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	制度の運用、各種振興事業とも適切に実施されている。	4
	市民サービス	スポーツ安全保険については、体育協会等の種目団体に広く活用された。	
効率性	コストの節減	優秀選手激励制度については、制度の趣旨を損なわないようにしつつコスト削減に努める。	4
	手段の最適性	適正に運用できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市民一人ひとりの目的に合わせたスポーツ活動が選択できるよう、幅広く展開できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	各団体の自主的な運営が進むよう、情報共有をはじめとした連携が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	各事業の一人当たりに係る必要事業費を抑えつつ、有効な事業費の執行に努めていく。

配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020400		事業の種類	4	
年度	30	事務事業名	ジュニアスポーツ振興事業		予算事業名	ジュニアスポーツ振興事業 優先度 4	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	平野慎司
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民(ジュニア層)					
	誰(何)を対象として	市民(ジュニア層)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	子ども達のスポーツへの関心が高まり、学校で地域で家庭で生き生きとしたスポーツ活動を展開する。特に小中学生のスポーツ人口の増加と基礎体力の向上を目指す。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		小中学生の基礎体力の低下が精神面や人間形成、学力の低下にまで影響を及ぼしている中、児童や生徒に対し、学校体育だけではなく、広くスポーツに接する機会を提供する。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	相生湾子ピッチ駅伝	チーム	61	61	54	60	
	少年親善剣道大会	チーム	82	78	76	80	
	ジュニア陸上競技教室	人	122	120	111	120	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.624	0.644	103	0.644	100	0.632	98	
	臨時職員	0.140	0.156	111	0.160	103	0.160	100	
支出内訳	人件費	5,415,246	5,752,408	106	5,600,276	97	5,759,844	103	
	事業費	1,420,000	1,370,000	96	1,370,000	100	1,380,000	101	
	合計	6,835,246	7,122,408	104	6,970,276	98	7,139,844	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	276,000	258,900	94	306,000	118	306,000	100	
	一般財源	6,559,246	6,863,508	105	6,664,276	97	6,833,844	103	
合計	6,835,246	7,122,408	104	6,970,276	98	7,139,844	102		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		ジュニアスポーツ普及振興事業							
指標説明(式)		事業(大会・教室等数)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	12	12	100.0	12	100.0	13	108.3	
	実績	12	12	100.0	13	108.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

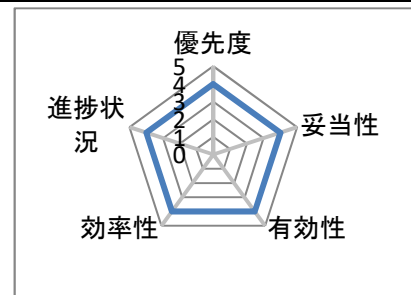
指標名1		ジュニアスポーツ(1大会・教室あたりのコスト)							
指標説明(式)		ジュニアスポーツ普及振興事業÷事業数(大会・教室等)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	122500	114166	93.2	114166	100.0	106153	93.0	
	実績	118333	114166	96.5	105384	92.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	他市町との交流や大会参加により、競技力の向上が図られている。	4
	市民サービス	子ども達に取り組みやすい教室や発達の場を提供できている。	
効率性	コストの節減	児童、生徒数の減少もあり、それに見合ったコスト削減を図っている。	4
	手段の最適性	子どもの基礎体力向上に重点をおいて事業の展開を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	子ども達のスポーツへの関心が高まってきている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	少子化と種目の多様化による日程の重複などによって、参加人数に影響がでている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	関係団体との連携、調整により日程や事業内容を充実させる。

配点	32.5
総合評価	26



# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020500		事業の種類	4	
年度	30	事務事業名	レクリエーションスポーツ振興事業	予算事業名	レクリエーションスポーツ振興事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	平野慎司
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	誰もが自分にあった形で生活の中にスポーツを取り入れる。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		市民誰もが暮らしの中での体づくりや健康維持等、スポーツを取り入れやすいように、レクリエーションスポーツに親しめる場の確保や大会等の開催を行う。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	あそぼうる	回	5	5	5	5	
	ターゲットバードゴルフ	回	8	8	8	8	
	グラウンドゴルフ	回	5	5	5	5	
	スポーツフェスティバル参加者数	人	1208	1226	1291	1300	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.820	0.788	96	0.790	100	0.790	100	
	臨時職員	0.260	0.248	95	0.252	102	0.250	99	
支出内訳	人件費	7,204,946	7,106,128	99	6,940,388	98	7,259,234	105	
	事業費	4,025,000	4,025,000	100	4,000,000	99	3,970,000	99	
	合計	11,229,946	11,131,128	99	10,940,388	98	11,229,234	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	465,000	435,000	94	465,000	107	465,000	100	
	一般財源	10,764,946	10,696,128	99	10,475,388	98	10,764,234	103	
合計	11,229,946	11,131,128	99	10,940,388	98	11,229,234	103		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		開催事業数							
指標説明(式)		あそぼうる、ターゲットバードゴルフ、グラウンドゴルフ、ペタンク							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	20	20	100.0	20	100.0			
指標名2		スポーツフェスティバルAIOI参加者数							
指標説明(式)		参加者							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1450	1450	100.0	1300	89.7	1400	107.7	
	実績	1208	1226	101.5	1291	105.3			

【効率性】

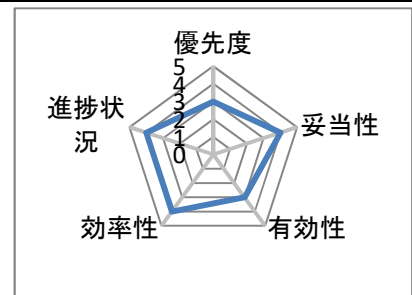
指標名1		スポーツフェスティバルAIOI(1人あたりのコスト)							
指標説明(式)		スポーツフェスティバルAIOIに係る事業費÷参加者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2068	1931	93.4	2000	103.6	2000	100.0	
	実績	2317	2283	98.5	2168	95.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	スポーツフェスティバルについては、幼児から高齢者まで、より多くの市民が参加できるよう常にプログラム内容の見直しを行う必要がある。	3
	市民サービス	市民一人ひとりが主体的に行うレクリエーションスポーツについて、行政としてスポーツをする場の提供やきっかけづくりなどの側面支援を行うことができた。	
効率性	コストの節減	市民ニーズを把握、分析しながらスクラップアンドビルドを行い、ニュースポーツの普及等、事業の効果を高める必要がある。	4
	負担割合の適正化	スポーツフェスティバルは幼児から高齢者までの誰もが気軽に参加できるよう、参加料は無料としている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしが図られている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	高齢化社会に対応すべく、目標達成のため事業内容と運営方法について検討する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	多世代で取り組める「アジャタ」の市民大会の開催や、地域、職域への貸し出しを行い、未経験の方に機会を提供する。

配点	32.5
総合評価	23

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020600		事業の種類	4		
年度	30	事務事業名	スポーツ教室事業		予算事業名	スポーツ教室事業 優先度 3		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課			
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと		担当者名	平野慎司
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	初心者を対象としたスポーツ教室を開催し、基礎的な知識と技術の習得を目指すことで、スポーツに関心を持ち、親しむ機会を提供する。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		スポーツ教室を開催し、基礎的な知識と技術の習得を目指すことで、スポーツに関心を持ち、親しむ機会を提供する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	スポーツ教室参加者数	人	265	201	279	280

## 3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.120	0.080	67	0.080	100	0.080	100	
	臨時職員	0.240	0.240	100	0.240	100	0.240	100	
支出内訳	人件費	1,878,306	1,620,712	86	1,629,020	101	1,653,484	102	
	事業費	878,160	604,970	69	870,120	144	874,000	100	
	合計	2,756,466	2,225,682	81	2,499,140	112	2,527,484	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	878,160	604,970	69	877,000	145	874,000	100	
	一般財源	1,878,306	1,620,712	86	1,622,140	100	1,653,484	102	
	合計	2,756,466	2,225,682	81	2,499,140	112	2,527,484	101	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ教室参加者数							
指標説明(式)		参加者							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	268	268	100.0	268	100.0	280	104.5	
	実績	265	201	75.8	279	138.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

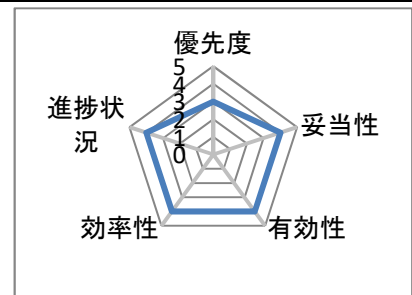
指標名1		スポーツ教室(1人あたりのコスト)							
指標説明(式)		スポーツ教室実施事業費÷参加者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3283	3272	99.7	3272	100.0	3121	95.4	
	実績	3313	3009	90.8	3143	104.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	競技場改修工事が前年度に完了したことにより、通年どおりの開講できたため、参加者数は昨年度より増加した。	4
	市民サービス	健康体操、卓球、バレーボール、バドミントン、幼児体操の5教室を開催することができた。出席率は高い。	
効率性	コストの節減	講師は体育協会加盟団体を主としたスポーツ団体に依頼しており、事業費は謝礼が主のため、コスト削減は難しい。	4
	手段の最適性	各スポーツ教室とも通常年の開催回数は3期であり、空調設備のない施設としては、教室の開催時期、開催回数ともに最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	スポーツに関心をもち、新たに参加し、親しむ機会を提供できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	教室開催時期以外にも自主的にスポーツができるよう普及促進を図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	教室開催のPRを積極的に行い、新規参加を促す。

配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020800		事業の種類	4	
年度	30	事務事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業		予算事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	平野慎司
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	各種目競技の普及推進、奨励を促す。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		権威ある大会等において、成績が顕著な個人や団体に対しスポーツ顕彰の贈呈を行うことで、競技者の士気を高め、さらには各種目競技の普及推進、奨励を促す。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	スポーツ顕彰	件	45	46	39	58

## 3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.260	0.264	102	0.260	98	0.260	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,307,526	2,408,664	104	2,302,580	96	2,378,584	103	
	事業費	91,200	149,800	164	79,600	53	223,000	280	
	合計	2,398,726	2,558,464	107	2,382,180	93	2,601,584	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,398,726	2,558,464	107	2,382,180	93	2,601,584	109	
合計	2,398,726	2,558,464	107	2,382,180	93	2,601,584	109		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ顕彰受賞者数							
指標説明(式)		県大会以上に進み、スポーツ顕彰を受賞した人数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	60	58	96.7	58	100.0	58	100.0	
	実績	45	46	102.2	39	84.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

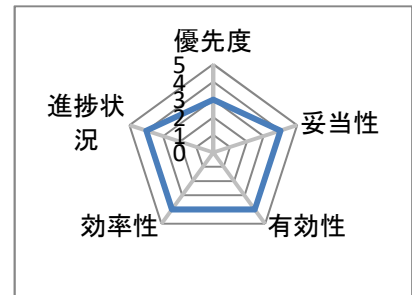
指標名1		スポーツ顕彰受賞者(1人あたりのコスト)							
指標説明(式)		スポーツ・文化芸術顕彰事業÷受賞者							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4083	3448	84.4	3448	100.0	3844	111.5	
	実績	2026	3256	160.7	2041	62.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	教育委員会として顕彰制度の一本化を図り、「相生市スポーツ顕彰に関する要綱」として施行している。	4
	市民サービス	競技スポーツに取り組む人の努力にこたえることができた。	
効率性	コストの節減	制度の趣旨を損なわないようコスト削減に努める。	4
	手段の最適性	要綱に基づき、有識者の意見を聞きながら適正に運用できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	功績に相応した顕彰を贈呈できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	受賞資格が明確になっている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	対象者の的確な把握を行うこと。

配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501030100		事業の種類	3	
年度	30	事務事業名	スポーツ推進委員事業		予算事業名	相生市スポーツ推進委員事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会体育振興課	
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ			担当課長	小西まこと	担当者名 平野慎司
取組み事項		スポーツリーダーを育成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		スポーツ基本法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域でのスポーツリーダーとして活動することで、スポーツ活動が活性化する。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		スポーツ推進委員の資質向上のため、各大会への参加、近隣の市町や市内での交流会、研修、講習参加や開催に取り組む。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	スポーツ推進委員会	回	9	9	9	9	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.332	0.324	98	0.324	100	0.324	100	
	臨時職員	0.020	0.016	80	0.020	125	0.020	100	
支出内訳	人件費	2,902,186	2,913,888	100	2,833,736	97	2,938,704	104	
	事業費	3,440,500	3,123,660	91	3,265,200	105	3,223,000	99	
	合計	6,342,686	6,037,548	95	6,098,936	101	6,161,704	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,342,686	6,037,548	95	6,098,936	101	6,161,704	101	
合計	6,342,686	6,037,548	95	6,098,936	101	6,161,704	101		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ推進委員数							
指標説明(式)		スポーツ推進委員数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	29	27	93.1	28	103.7	28	100.0	
	実績	25	25	100.0	28	112.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

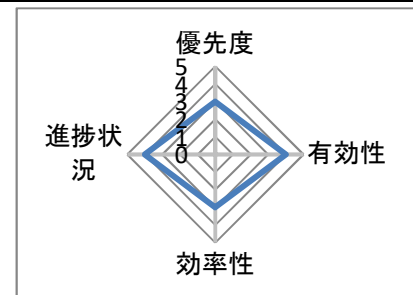
指標名1		スポーツ推進委員報酬							
指標説明(式)		スポーツ推進委員報酬総額							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3170000	3170000	100.0	3116000	98.3	3116000	100.0	
	実績	3154000	3009600	95.4	3032400	100.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	各事業の指導や支援が円滑に行われている。	4
	組織運営・適正管理	組織運営は適切かつ円滑に行われている。資質向上のための研修にも積極的に参加している。	
効率性	コストの節減	各種事業や新規スポーツ事業等の応援をスポーツ推進委員に依存しているため、報酬の削減は困難である。	3
	執行体制の効率性	改選の際は女性委員の増員と若返りを図れた。今後も適任者の発掘に努めていく。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	地域でのスポーツリーダーとして自覚し、積極的に活動できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	地域スポーツリーダー確保や育成が重要であり、多様な種目、地域から委員を選出し、組織の新陳代謝を図っていく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	組織としての活動の安定を図りつつ、将来を考慮した効率的な配置を行い、コストの削減を図る。

配点	25
総合評価	17